

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 11月 1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473300659		
法人名	医療法人 社団 明和会		
事業所名	ラ・メール大野		
所在地	広島県廿日市市丸石二丁目3-35 (電話) 0829-50-4315		
自己評価作成日	平成22年11月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksjks.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=3473300659&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成22年11月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ラ・メール大野は、海や山の近くに位置し季節感を感じながら生活できる環境になっている。病院併設の施設で医療面の支援体制については、入居者及びそのご家族に安心を提供している。また、地域密着型の施設として毎月地域のふれあいサロン等に出向き、地域との交流を深め入居者の方が地域で継続した生活が送れるように取り組んでいる。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>当事業所は開所時から、母体の医療機関の協力体制と連携がなされ、入居者の尊厳を守り、その人らしく暮らせるような支援と、地域の中でともに支えあう事を目指し、家族の信頼も厚く安心して入居できるグループホームを構築された。地域とのかかわりが積極的であり、地域のふれあいミニサロンへの参加や保育園児との交流、近隣中学校の職場体験実習の受け入れ等事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。また、職員研修も本部・事業所一体で取り組まれ、全職員の資質の向上に努められている。</p>
--

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	グループホーム理念と法人の理念の共有を図っている。その理念に近づくために目標を持って取り組んでいる。	法人の理念を踏まえた事業所独自の理念をつくり、具体的な実践目標を掲げ、その実現に向けて全職員で取り組んでおり、ミーティングなどの際にも職員全体で話し合ったりしながら、ケアについて意見の統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地区の一斉清掃や行事に参加し、ふれあいミニサロン（毎月）にも参加している。また、保育園との交流も毎月行っている。	地域の一員として、保育園、学校、地域の行事などに積極的に参加している。保育園との交流は毎月行われ、園児にも入居者にも楽しいひと時となっている。また、毎月開催される地域のふれあいサロンに参加するなど、地域の人たちと日常的に交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ボランティアや近隣中学校の職場体験実習、認知症介護実践研修の実習を受け入れ、ホームの機能を還元している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月毎の運営推進会議で、ホームの活動報告などについての話し合いを行っている。	2カ月に1度開催されている会議には、地域住民の代表や家族・行政等地域の幅広い立場の人が参加されており、事業の報告や、家族の意見・要望、地域との連携における課題などが協議・検討されている。また、月によって、家族会との合同開催とする等の工夫をしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	廿日市市の介護保険係にサービスの状況などの報告を行っている。毎月、介護相談員（廿日市市職員）の受け入れも行っている。	定期的に市担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取組み状況を伝えている。また、毎月、廿日市市の介護相談員の訪問の受け入れを行ない、入居者や職員との交流も図っている。	

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について正しく理解し、身体拘束のないケアを行っている。玄関はタッチ式でドアホーンが鳴るようになっている。スタッフの出入りは名前を云って行うようにしており、外出の察知ができるように工夫している。</p>	<p>職員の見守りの方法と連携を徹底し、また、一人ひとりのその日の気分や状態をきめ細かくキャッチすることで、鍵をかけないケアの実践に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修に参加し、高齢者虐待についての理解を深めるようにしている。外泊時には、ご家族との情報交換を密にし、状況の把握に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見制度について理解している。必要に応じてご家族などに制度の説明などを行っていききたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>文書と口頭で十分な説明を行っている。その後においても質問等があれば、十分な説明を行うようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回納涼祭とクリスマス会において家族会を開き、意見や要望などをいただくように働きかけている。また、意見や苦情等の相談を受ける体制を整えている。相談等があれば、運営推進会議で検討・報告していききたい。</p>	<p>家族の面会時やケアカンファレンス、年2回の家族会の際に、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。出された意見、要望等はミーティングで話し合い、運営の改善に反映させている。また、運営推進会議でも検討・報告を行う様になっている。</p>	

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>両ユニット合同のミーティングを行い、意見交換を行っている。また、問題等が生じた場合には、必要に応じて話し合いをするようにしている。</p>	<p>毎月1回定例実施する、両ユニット合同のカンファレンス・ミーティングにおいて、各自意見や提案を出し合い、運営に反映している。また、管理者は年2回の達成度面接等を通じ意見や提案を聞き、運営に反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課により、職員一人ひとりの評価するシステムを導入している。また、管理者と職員間で個別に話し合う機会を設け、問題解決にも取り組んでいる。</p>	/	/
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修参加については、スタッフの希望する研修が受講できるように配慮している。また、毎月法人内で行われる研修への参加を働きかけ、質の向上に努めている。</p>	/	/
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他の事業所へ見学に行き、組みを聞くなど意見交換を行っている。今後、他の事業所と積極的な情報交換等をしていきたい。</p>	/	/
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>面接や見学時に話をきかせていただき、必要な情報は記録し、職員間で共有できるようにしている。</p>	/	/

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	面接や面会時にコミュニケーションをとりながら要望などを汲み取り、きちんとしたアセスメントを行うようにしている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	介護保険制度のサービスなどについての説明も必要に応じて行っている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	折り紙などによる作品作りを入居者の方と一緒にいき、共感したり、支えあう関係を築くようにしている。また、入居者の方同士も支えあえるようにフォローしている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	面会時にご家族の思いを聞き、ご本人の様子や意向などをお伝えすることで信頼関係を築いている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	入所時になじみの物品を持ち込んでいたり、ご家族の写真などを持って来ていただくなどの工夫をしている。また、ご家族や知人の面会時などに情報収集を行っている。	入居者がこれまで培ってきた人間関係や社会との関係等を、家族や知人から聞くなどし、本人が地域や地域住民との関係を継続できるように支援をしている。	

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	トラブルのない関係が構築できるように、入居者同士の席順など職員が介入し、気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後でも、ご家族の方がグループホームを訪問されたりしている。必要に応じてご家族の方からの相談に応じている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の方一人ひとりの状況や意向の把握に努め、できることを主体として介護計画に取り入れ実践している。	事業所の理念である「個々の思いに耳を傾け、安心できる生活を提供します」を念頭に、全職員は入居者の一人ひとりの状況や意向の把握に努め、入居者の立場に立った対応を心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族より今までのライフスタイル、生活暦等について情報をいただき、入居者の方一人ひとりの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者の方の有する力等を把握し、記録に残している。		

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>各ユニットで3カ月毎にカンファレンスを行い、ケアプランの作成をしている。その際、ご本人にもカンファレンスに参加して頂き、希望や意向を確認し、ケアプランに盛り込んでいる。家族の方もカンファレンスに参加していただけるように協力をお願いしている。</p>	<p>本人や家族には日頃のかかわりの中で、思いや希望を聞き、また看護からの意見も聞く中で介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者の方一人ひとりの行動記録があり、状態やケア内容、気づき等を記入している。</p>	/	/
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族の方からの宿泊希望があった場合、寝具の貸し出しや食事などの提供も可能となっている。 また、法人内の居宅介護支援事業所を通して、オムツ等の購入も可能となっている。</p>	/	/
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>入居者の方が買い物ができるように、近所の商店やスーパーへ働きかけ、協力を得ている。</p>	/	/
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人やご家族の意向に沿った医療機関での受診・往診ができるように配慮している。また、必要な情報は提供し、協力体制を築いている。</p>	<p>一人ひとりの入居前の受診の経過、現在の受診の希望を把握して、今までのかかりつけ医や希望する医療機関での受診・往診支援ができている。</p>	

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	併設病院（大野浦病院）の看護職と連携して支援している。	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入居者の方が入院した場合、入院先の相談員と連携を図り、状況の把握や今後の方向性などについて話し合っている。	/	/
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入所時ご家族に対して、急変時や重度化した場合と終末期のあり方（延命治療等）についての意向を確認し方針を決めている。	本人や家族の意向、本人にとってどうあったら良いのか、事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえて、方針を共有している。	/
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急対応マニュアルを作成しており、スタッフ一人ひとりが内容を把握している。	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	毎月避難訓練を行い、入居者の方に意識していただくようにしている。また、災害時マニュアルを作成し、職員は避難経路などを把握している。（避難経路を図式化し、誰でもわかるように工夫している。）	災害マニュアルを作成し、毎月避難訓練を入居者とともにやっている。災害時の避難経路は図式化して、いざと言う時には、スムーズに避難出来るようにしているが、万全の体制づくりとして、近隣の住民の方々の協力体制の確立を、運営推進会議等で検討・作成される事を期待します。	/

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<p>入居者の方一人ひとりの性格を理解し、一人ひとりのペースに合わせた対応に心掛けている。</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないことの徹底と、日常的な確認が事業所全体で行われている。援助が必要な時も、まずは本人の気持を大切に考えて、さりげないケアや、一人ひとりのペースに合わせた対応を心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<p>自己決定ができるような言葉かけを行っている。また、残された力を使って生活していただくよう配慮している。</p>	/	/
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者一人ひとりの生活ペースに合わせて、希望を聞きながら必要に応じたケアを行っている。</p>	/	/
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。</p>	<p>本人の意思や個性を尊重した整容ケアに取り組んでいる。</p>	/	/
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>入居者の方一人ひとりの力を活かし、盛り付けやお盆拭きなどを一緒に行っている。</p>	<p>食事は、調理・盛り付け・片付けなどを職員と一緒に行う等、入居者一人ひとりの好みや力を引き出す、声かけや場面作りがなされている。また、入居者と職員全員が食卓を囲んで同じ料理を楽しく食べている。</p>	

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量や水分摂取量の記録を行い、摂取状況の把握に努めている。摂取カロリーが不足している場合には、ご家族と相談し栄養補助食品などの摂取をすすめている。</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、入居者個々に応じた口腔ケア（義歯の洗浄等）を行っている。</p>	/	/
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>記録により、一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげなく対応するようにしている。</p>	<p>入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、職員全員で入居者にどう自然に排泄してもらおうか工夫し、また、情報を共有し入居者個々の排泄の自立支援に努めている。</p>	/
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>入居者の方一人ひとりの状態を把握し、乳製品（牛乳等）の摂取をすすめたり、水分補給の徹底を図っている。必要に応じ、医師の処方のもと下剤の内服を促している。</p>	/	/
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本的には2日1回の入浴。入浴時間など希望に沿ったケアを行っている。</p>	<p>基本的には入浴日は決まっているが、入居者の希望に応じている。一人ひとりに応じた安楽な入浴方法については、絶えず職員間で考慮し、実践している。</p>	/

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>入居者の方一人ひとりの状況に応じて、運動量を増やすなど安眠を促すような支援を行っている。 また、生活習慣や体調等に合わせ、適度な休息がとれるようにしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>入居者の方一人ひとりの服薬内容を把握し、医師の指示通りに服用ができるようにしている。また、誤薬予防のため、投薬前のチェックを徹底している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入居者の方の好きなこと、得意なことに取り組んでもらうようにしている。生活の中においても、食器洗い、洗濯物たたみなどの役割を持ってもらい、入居者一人ひとりの個性や特徴を活かせるような支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>入居者の方の希望を聞き、一緒に散歩や外出の企画に取り組んでいる。その際、ご家族と相談しながら行っている。</p>	<p>入居者一人ひとりの希望を聞き、家族と協力しながら戸外に出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>入居者の方の能力に応じた支援を行っている。ホームで預かる場合には、家族に預り書を発行し管理している。</p>		

2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	プライバシーに配慮し、手紙や電話を利用できるようにしている。携帯電話を利用する入居者の方もいる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者の方が居心地よく過ごせるように、声の大きさ、TVの音量、照明の明るさに気を配っている。ホーム内には、写真や作品を飾り生活感を出している。また、季節を感じさせる装飾にも取り組んでいる。	色、光、音、におい、手触り、広がり、空気の流れなど、五感刺激への配慮をし、また、ホーム内にはイベントや外出時の写真や作品、季節の花を飾る等、居心地よく過ごせる共用空間作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングに畳のスペースやソファを設置して自由に過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所の際は、使い慣れた私物を持ち込んでいただくように働きかけ、慣れ親しんだ雰囲気近づけるようにしている。	入所時、家庭から使い慣れたものや、家族の写真等を持参して頂き、その人が大切にしていたものに囲まれ、その人らしい、居心地のよい暮らしの居室作りを支援している。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	低めの流し台を使っており、要所へ手すりも設置している。 また、部屋の入口には、ご本人の思い出の品物を置き、部屋を間違えないように工夫している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	◎少しずつ増えている ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	グループホーム理念と法人の理念の共有を図っている。その理念に近づくために目標を持って取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地区の一斉清掃や行事に参加し、ふれあいミニサロン（毎月）にも参加している。また、保育園との交流も毎月行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ボランティアや近隣中学校の職場体験実習、認知症介護実践研修の実習を受け入れ、ホームの機能を還元している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月毎の運営推進会議で、ホームの活動報告などについての話し合いを行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	廿日市市の介護保険係にサービスの状況などの報告を行っている。毎月、介護相談員（廿日市市職員）の受け入れも行っている。		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について正しく理解し、身体拘束のないケアを行っている。玄関はタッチ式でドアホーンが鳴るようになっている。スタッフの出入りは名前を云って行うようにしており、外出の察知ができるように工夫している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修に参加し、高齢者虐待についての理解を深めるようにしている。外泊時には、ご家族との情報交換を密にし、状況の把握に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見制度について理解している。必要に応じてご家族などに制度の説明などを行っていきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>文書と口頭で十分な説明を行っている。その後においても質問等があれば、十分な説明を行うようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回納涼祭とクリスマス会において家族会を開き、意見や要望などをいただくように働きかけている。また、意見や苦情等の相談を受ける体制を整えている。相談等があれば、運営推進会議で検討・報告していききたい。</p>		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	両ユニット合同のミーティングを行い、意見交換を行っている。また、問題等が生じた場合には、必要に応じて話し合いをするようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課により、職員一人ひとりを評価するシステムを導入している。また、管理者と職員間で個別に話し合う機会を設け、問題解決にも取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修参加については、スタッフの希望する研修が受講できるように配慮している。また、毎月法人内で行われる研修への参加を働きかけ、質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他の事業所へ見学に行き、組みを聞くなど意見交換を行っている。今後、他の事業所と積極的な情報交換等をしていきたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	面接や見学時に話をきかせていただき、必要な情報は記録し、職員間で共有できるようにしている。		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	面接や面会時にコミュニケーションをとりながら要望などを汲み取り、きちんとしたアセスメントを行うようにしている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	介護保険制度のサービスなどについての説明も必要に応じて行っている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	折り紙などによる作品作りを入居者の方と一緒にいき、共感したり、支えあう関係を築くようにしている。また、入居者の方同士も支えあえるようにフォローしている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	面会時にご家族の思いを聞き、ご本人の様子や意向などをお伝えすることで信頼関係を築いている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	入所時になじみの物品を持ち込んでいただいたり、ご家族の写真などを持って来ていただくなどの工夫をしている。また、ご家族や知人の面会時などに情報収集を行っている。		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	トラブルのない関係が構築できるように、入居者同士の席順など職員が介入し、気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後でも、ご家族の方がグループホームを訪問されたりしている。必要に応じてご家族の方からの相談に応じている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の方一人ひとりの状況や意向の把握に努め、できることを主体として介護計画に取り入れ実践している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族より今までのライフスタイル、生活暦等について情報をいただき、入居者の方一人ひとりの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者の方の有する力等を把握し、記録に残している。		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	各ユニットで3カ月毎にカンファレンスを行い、ケアプランの作成をしている。その際、ご本人にもカンファレンスに参加して頂き、希望や意向を確認し、ケアプランに盛り込んでいる。家族の方もカンファレンスに参加していただけるように協力をお願いしている。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	入居者の方一人ひとりの行動記録があり、状態やケア内容、気づき等を記入している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	ご家族の方からの宿泊希望があった場合、寝具の貸し出しや食事などの提供も可能となっている。また、法人内の居宅介護支援事業所を通して、オムツ等の購入も可能となっている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	入居者の方が買い物をすることができるように、近所の商店やスーパーへ働きかけ、協力を得ている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	ご本人やご家族の意向に沿った医療機関での受診・往診ができるように配慮している。また、必要な情報は提供し、協力体制を築いている。		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	併設病院（大野浦病院）の看護職と連携して支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者の方が入院した場合、入院先の相談員と連携を図り、状況の把握や今後の方向性などについて話し合っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時ご家族に対して、急変時や重度化した場合と終末期のあり方（延命治療等）についての意向を確認し方針を決めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応マニュアルを作成しており、スタッフ一人ひとりが内容を把握している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月避難訓練を行い、入居者の方に意識していただくようにしている。また、災害時マニュアルを作成し、職員は避難経路などを把握している。（避難経路を図式化し、誰でもわかるように工夫している。）		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の方一人ひとりの性格を理解し、一人ひとりのペースに合わせた対応に心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定ができるような言葉かけを行っている。また、残された力を使って生活していただくよう配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者の方の意思や体調に配慮し、個々のペースに合わせた対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧などはご本人に任せて行うなど、本人の意思を大切にケアを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者の方一人ひとりの力を活かし、盛り付けやお盆拭きなどを一緒に行っている。		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	食事摂取量や水分摂取量の記録を行い、摂取状況の把握に努めている。摂取カロリーが不足している場合には、ご家族と相談し栄養補助食品などの摂取をすすめている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後、入居者個々に応じた口腔ケア（義歯の洗浄等）を行っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	記録により、一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげなく対応するようにしている。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	入居者の方一人ひとりの状態を把握し、乳製品（牛乳等）の摂取をすすめたり、水分補給の徹底を図っている。その他対策として、散歩などによる適度な運動を取り入れたりもしている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	基本的には2日1回の入浴。入居者の方一人ひとりの希望に沿ったケアを行っている。		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	入居者の方一人ひとりの状況に応じて、運動量を増やすなど安眠を促すような支援を行っている。 また、体調に合わせ、適度な休息がとれるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	入居者の方一人ひとりの服薬内容を把握し、医師の指示通りに服用ができるようにしている。また、誤薬予防のため、投薬前のチェックを徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居者の方の好きなこと、得意なことに取り組んでもらうようにしている。生活の中においても、食器洗い、洗濯物たたみなどの役割を持ってもらい、入居者一人ひとりの個性や特徴を活かせるような支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者の方の希望を聞き、一緒に散歩や外出の企画に取り組んでいる。その際、ご家族と相談しながら行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者の方の能力に応じた支援を行っている。ホームで預かる場合には、家族に預り書を発行し管理している。		

1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	プライバシーに配慮し、手紙や電話を利用できるようにしている。携帯電話を利用する入居者の方もいる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者の方が居心地よく過ごせるように、声の大きさ、TVの音量、照明の明るさに気を配っている。ホーム内には、写真や作品を飾り生活感を出している。また、季節を感じさせる生花を置き、雰囲気づくりにも取り組んでいる。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングに畳のスペースやソファを設置して自由に過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所の際は、使い慣れた私物を持ち込んでいただくように働きかけ、本人が居心地よく過ごせるようにしている。		
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	低めの流し台を使っており、要所へ手すりも設置している。 また、部屋の入口には、ご本人の思い出の品物を置き、部屋を間違えないように工夫している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ラ・メール大野

作成日 平成 22年 1月 7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時、近隣住民との協力体制が確立されていない	災害時における地域との協力体制の確立	偶数月に一度開催する運営推進会議の中で、協力体制について検討を行っていきたい。	半年～1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。